

[指揮] 現田 茂夫

脂 牛島 俊哉

脂 現田 茂夫

TICKET

1階席 4,000円 2階席 3,000円 チケット料金

販売開始 2025年9月2日(火)10:00~

チケットの取扱 柳川市民文化会館 ※全席指定 ※近郊・遠方にお住いの方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

HP https://kaidotosei.jp/



「海道東征」は、北原白秋が晩年、病魔と闘いながら自らの集大成として昭 和14年(1939年)に作成された長編詩で、八つの章から成っています。それは、 日本のはじまりを描く叙事詩として「古事記」や「日本書紀」等の記述を基に、 天地開闢、国産み、天孫降臨、神武東征、大和政権の樹立までの物語を壮大に して格調高く、勇壮にして美しい大和言葉のリズム (韻律)で書き上げました。 この詩に独唱、合唱、管弦楽のための「交声曲」(カンタータ) として作曲し たのが、日本作曲界の創成期を代表する信時潔で、畢生の代表作です。

## 古事記における東征ルート

天業恢弘



交聲曲 「海道東征」

御船謡 第三章 御船出 第四章 速吸と菟狭 第六章 海道回顧 第七章 白肩の津上陸 第五章 第八章



指

揮

現田 茂夫



牛島 俊哉

## 解説:背景画像《日向美々津》について

「古事記」では、神武天皇は水軍を率いて日向を出発、瀬戸内海 を経て大和の国を征服し初代天皇に即位したとされています。こ れがいわゆる「神武東征」の神話で、このときお船出されたのが、 耳川口の美々津港です。その際、沖合の二つの岩礁(左:一ツ神、右:

七ツバエ)の間(「お船出の瀬戸」)を抜けてお船出されたそうです。 右の岩礁の七ツバエには、神武天皇の東遷二千六百年祭(昭和9 年) に建立された美々津港灯台があり、「お船出の瀬戸」の夜の海 を永遠に照らしつづけているこの灯台は、神武伝説にちなんで「神 のみあかし」「みひかりの灯」とも呼ばれています。また、この灯台 の脇には神話の地らしく小さな祠も立っています。



坂井 里衣



ソプラノ II 古賀 理紗



アルト 八巻 啓子



江川 靖志



萩原 潤



工藤 真菜



ィオラ 小倉 由衣



字野 健太



コントラバス 伊藤 珠里



永田 明



平 洋子

弦楽アンサンブル WARASUBO

白秋のまち"海道東征"合唱団

## 进町 鍛冶屋町 下百町 柳川市 役所西 ● 柳川市役所 柳川警察署前 城南町 木町 ●杉森高校 徳益 柳川市民文化会館 保養センター 水の郷 徳益IC 上宮永 野田

## 会場へのアクセス

- ■西鉄柳川駅からタクシーで約6分
- ■西鉄柳川駅[西□]から堀川バス (瀬高・柳川線) 「杉森学園前・亀の井ホテル柳川」方 面に乗車し、「杉森学園前」下車(約8分) そこから会場まで徒歩約5分

西鉄柳川[西□]発 11:25⇒11:33 11:55⇒12:03 12:25⇒12:33

- ■西鉄柳川駅[西□2番のりば]から西鉄バス(路線6番:沖新線)「御花前/早津江」 方面に乗車し、「布橋(ぬのばし)」下車(約8分) そこから会場まで徒歩約8分 西鉄柳川[西□]発 11:30⇒11:38 12:30⇒12:38
- 注:①上記のバス時刻は、**7月時点での時刻**です。ご来場の際には、**事前に時刻表を確認**し、 余裕を持ってお越し下さい。
  - ②公演当日は、駐車場が混雑することが予想されます。当会場での駐車台数が限られて いますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。